

都市山の防災

～都市山六甲山の特徴～



写真提供：
神戸市森林整備事務所

明治35年頃の六甲山



写真提供：神戸市森林整備事務所

現在の六甲山

明治の植林から110年、六甲山は緑豊かな山となりました。神戸市民をはじめ、多くの人に愛される都市山「六甲山」。かけがえのない貴重な財産です。

その特徴は ● ● ●

1

瀬戸内海国立公園など保全区域に指定された森林が多い。

開発が抑制されるなど、自然保護もしくは森林として利用される山。



2

アカマツやコナラ・アラカシ等の広葉樹が多く、人工林は少ない。

災害防止や景観、市民のいこいの場などの環境としての役割(機能)を果たす山。

問題点

手入れ不足により役割(機能)が果せていない。



出典：神戸市

3

市や国など公的機関が所有し管理している山が約5割ある。

公的に管理して保全を図っている山。

問題点

公的資金には限度があり、さらに私有地も含めて、森林ボランティア等による社会全体での保全が必要。



出典：神戸市

都市山の防災

～都市山防災林整備～

●神戸市北区有野町唐櫃地区の取り組み●

事業目的

平成26年8月豪雨では、六甲山系において、風化花崗岩や松枯れ跡地の広葉樹林の急斜面で表層崩壊が多発したため、人命・下流人家等に甚大な被害を及ぼす危険性が高い流域の森林を対象に防災機能の強化を図ります。



整備方針

- 大きくなった広葉樹を間伐することにより、林の中が明るくなって、草が育ち、根が強くなるので山くずれを防ぐことができます。
- 土が流れ出すことを防ぐために間伐した木を等高線沿いに並べて置きます。
- 木が大きくなりすぎて枯れたり、倒れたりして大雨の時に流れないように、あらかじめ切ります。

具体的な施行事例

**倒木、樹勢の弱い木の伐採
照葉樹の伐採
残存木の根を発達させ
土砂流出を防止**

**ヒノキの間伐
倒木の伐採**

急傾斜のため伐採をしない

**カゴ砕工により
土砂流出を補完**

**道を保全するため、
倒伏の恐れがある
大径木を伐採**

**現存するアカマツを保全し、
伐採をしない**

**倒木、樹勢の弱い木の伐採
照葉樹の伐採
里山林整備的な整備**

登山道

現地調査

出典：神戸市